

体育科学習指導案

指導者 広島市立観音小学校教諭 藤永 裕太

1 日時 令和3年11月13日(土) 第1校時 9時10分～9時55分

2 学年 第6学年1組(男子 17名 女子 15名 計 32名)

3 単元名 「プレルボール ～目指せアタック! 連係プレーへの道のり!～」

4 授業づくりの考え方

単元の捉え方

プレルボールは、バレーボールよりボール操作が易しいに加え、攻防の入り乱れがなく、役割を明確にして作戦の実効性を高めることのできる競技である。また、ボールをバウンドさせることでレシーブ・トス・アタックの3段攻撃を実現しやすくラリーを楽しむことができる特徴がある。さらに、ルールやコートなど児童の実態に合わせ設定しやすいネット型競技である。

これらから、ネット型競技の連係プレー、ラリーの楽しさを味わうことができ、達成感を感じやすい教材であると考えます。

児童の実態

アンケート調査の「運動をすることが好きですか」という項目では、約7割の児童が肯定的に回答しているが、運動が苦手と感じている児童も少なからずいる。また、「ボールをついたり、投げたり、はじいたりする運動が得意ですか。」という項目では、得意と答えた児童が約5割と少なく、はじく運動に関しては、経験がない児童が約5割もいた。

話し合い活動については、自分の考えを伝えることができる児童が2割程度いる。積極性はないものの5割の児童は聞かれたら意見や考えを伝えることができる。

何ができるようになるか(めざす児童の姿)

役割を明確にし、連係プレーの心地よさや達成感を味わうことができる子

何を学ぶか(指導内容の明確化)

ソフトバレーボールは、ボール操作の困難さから作戦の実効性が低いものとなっている。そこで本単元ではバレーボールのようなラリーの楽しさ、3段攻撃によるアタックの醍醐味を体感できるようにプレルボールを基にしたゲームを行う。単元の学習を通して、個々の役割と連係プレーの達成感を味わわせたい。また、プレルボールに必要な落下地点予測・バウンド予測・ボール操作を身に付けさせていく。

チームとして連係プレーを追い求める中で、レシーブ・トス・アタックの役割を明確にもちポジションや動きのタイミングの大切さを学ばせていきたい。また、作戦を考える場面では、効果的な攻撃を学習すると同時にそれに対する守り方の工夫も学習をさせていきたい。

どのように学ぶか(学習過程の工夫)

バレーボールの3段攻撃について動画を基にイメージさせ、バレーボールに近づけるような単元構成を設定した。そして毎時間、児童のやりたいことや困り感を取り上げながら進めていく。

連係プレーを成功させるには、ボール操作やボールを持たないときの動きなど、チーム練習→考察・交流→実践と毎時間授業の流れを設定する。実践する中で様々な動きの感覚を交流し、運動の感覚を共有することを目指したい。

タスクゲームで、動きの難しさやポイントに気づき、それらを共有することで、各ポジションの動きを理解させたい。そのために、学習の中で、兄弟チームを作り、お互いのプレーを見てアドバイスし合うことで、客観的な気づきをさせていく。また、有効な攻撃について学習を通して、攻撃に対する守りの工夫をしていくことが作戦につながることを理解させていきたい。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元目標	個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをしている。	ゲームを通して感じたことを基にルールを工夫したり作戦を考えたりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動に積極的に取り組もうとし、ルールを守り助け合って運動をしようとしていたり、勝敗を受け入れようとしていたり、仲間の考えや取組を認めようとしていたり、場や用具の安全に気を配ったりしている。
評価規準	① プレルボールの行い方を理解している。 ② ボール操作とボールを持たないときの動きによって、チームの連係プレーによる簡易化されたゲームをすることができる。 ③ 有効な攻撃について理解している。	① 自分が感じたことを基にチームの課題に気付いたり、練習を工夫したりしている。 ② 自己や仲間の考えたことを基に作戦を工夫している。	① ゲームに積極的に取り組もうとしている。 ② ルールを守り助け合って運動しようとしている。 ③ 勝敗を受け入れようとしている。 ④ 仲間の考えや取組を認めようとしている。 ⑤ 場や用具の安全に気を配ろうとしている。

6 指導と評価の計画（第6学年 全8時間）

次	時	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点		
				知技	思判表	態度
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">連係プレーへの道のり！プレルボールをやってみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ プレルボールの行い方やルールを理解する。 ○ 試合をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動画を基にルールを説明し用具の準備や片付けの仕方を知る。 ○ 3対3の試合をする。振り返りから困り感を出させ今後の学習活動に役立てる。 	①		⑤
	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">連係してボールを相手コートに返そう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の振り返りからそれぞれの困り感を確認する。 ○ ドリルゲームをする。 ○ タスクゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連係プレーの大切さに気付かせる。 ○ ネットの高さ、ボールを持たないときの動き・打ち方・返球の仕方などを考え練習へ意識付ける。 《ドリルゲーム》 <ul style="list-style-type: none"> ・ワンバウンドで対面パス ・キャッチして投げる・両手で打つ・片手で打つ ・コートのサーブエリアを囲みバウンドキャッチ ○ ラリーの回数を競うラリーゲームをコート対抗で行う。 	①		

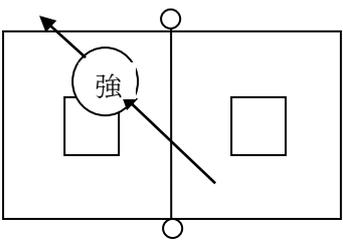
<p style="text-align: center;">目指せアタック！関係プレーへの道のり！ チーム内で連携し、ラリーを続けて楽しもう</p>						
二	3 4	<p>○ レシーブ・トス・アタックの動きのポイントを確認していく。</p> <p>○ ドリルゲームをする。</p> <p>○ タスクゲームの仕方を知る。</p> <p>① 相手からのボールをうまくレシーブしよう！</p> <p>② みんなで動いて、ボールをつなごう！</p>	<p>○ 単元マップを基にレシーブ・トス・アタックの役割について全体交流する。</p> <p>○ ハーフコートを使い、場面を想定したポジションに着きポジションに応じた練習ができるようにする。</p> <p>《タスクゲーム1》 「各チームでレシーブしてセッターに返す。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールの正面に入って、後ろからレシーブに入ることに気付かせる <p>《タスクゲーム2》 「3人でボールをつなぐ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボールを持たない児童の動きに気付かせ、3段攻撃（関係）につなげていく。 （セッターは レシーバーに正対して、すぐに動けるかまえをとる。） ・ 10本のうち何本つなぐことができるか数を競う。 	① ②	①	③ ④
	5	<p>③ アタックしやすいトスを上げて相手にボールを返そう。</p>	<p>《タスクゲーム3》 「どのようなトスだとアタックが相手コートに返しやすいかを見付ける。」</p> <p>トスの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トスの高さ ・ ネットとの距離 ・ アタッカーとの距離 ・ アタッカーがボールに合わせることに気付かせる。 <p>アタックの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アタッカーの待機位置 ・ アタッカーの体の向き <p>《ラリーゲーム》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兄弟チームでボールが何往復したかラリーゲームをする。 	②	①	①

6 (本時)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">得点につながりやすい攻撃を考えよう</div>		②		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 得点のしやすい場面を設定し、取りにくい返球を考える。 ○ 作戦を話し合い試合で実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どこでどのようなアタックが有効かコートの子バンプポイントを基に交流する。 ○ 共有したことを基にアタックの練習を全員で行う。 			
7 8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">トーナメント戦をしよう</div>		③	②	② ③
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習してきたことを生かし試合をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ゲーム→振り返り→ゲーム」を繰り返してリーグ戦を楽しむ。 ○ 攻撃に対しての守り方の工夫ができるように声をかける。 			

7 授業観察のポイント

- 全体で作戦を共有することでチームの特徴を基に作戦を考え、選択することができていたか。
- 連携プレーを生かした達成感のある活動になっていたか。

8 本時の学習 (6 / 8時間)

目標	○ どのような攻撃が有効か考え、伝えることができる。【思考・判断・表現】	
学習内容・活動 (・予想される児童の反応)	指導上の留意点 (○指導 □支援・配慮)	評価規準 (評価方法)
1 体幹体操をする。 2 準備をする。 3 本時の課題の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までのできるようになったことを振り返るとともに、本時の学習の流れを示す。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">めあて：得点につながりやすい攻撃を考えよう。</div>		
4 タスクゲームを行い、得点につながりやすい攻撃を試す。 ○ アタックを打つ場所 ○ 返球する場所 ○ 返すボールの強弱  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人がいないところに落とす。 ・ライン際に向かって打つ。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> □ 兄弟チームでタスクゲームの中で気が付いたことを交流させる。 ○ 〈タスクゲーム3〉セッターがトスを上げて、相手コートに攻撃する。 ○ 各チームから出た考えを掲示板にグルーピングする。 ○ 全体で得点につながりやすい攻撃を共有することで他チームから出た攻撃も練習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのような攻撃が得点につながりやすいかを考え、伝えることができる。 <p>【思考・判断・表現】 (行動観察・コート図・振り返り)</p>

